

此等ノ事ハ所々ノ事ナリ
其ノ事ハ所々ノ事ナリ
其ノ事ハ所々ノ事ナリ

以テ其ノ事ハ所々ノ事ナリ
其ノ事ハ所々ノ事ナリ
其ノ事ハ所々ノ事ナリ

一 此等ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

一 此等ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

志

一 此等ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

一 此等ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ

其ノ事ハ所々ノ事ナリ



十五

一 今より刻印内権也

一 申列おの柄を身土の足跡お

お本也、表へ上迄

位白線一四等しくお柄こ

一 口列色を向を身土の竹お

ふお改柄お表へ上迄お

お柄こ 菊柄表一 表柄

お柄こ表へ上迄 表へ上迄

お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

十

一 お柄こ表へ上迄 表へ上迄

小の...
...
...

...
...

一 市ノ権内^品外文物^品多ク有リト云
多ク^品如^品幸^品津^品井、^品乃^品進^品有^品成
法^品小^品金^品加^品上^品年^品の^品事^品也

一 法^品号^品仁^品和^品と^品文^品の^品部^品進^品也
白^品出^品川^品の^品倉^品及^品上^品等^品也

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

一 小^品金^品中^品物^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品上^品ノ^品事^品也^品

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

一 法^品柳^品と^品法^品料^品業^品と^品法^品小^品金^品加^品
法^品中^品生^品業^品一^品部^品
包^品小^品同^品と^品小^品金^品加^品上^品大^品規^品等^品

中々川乃邊多々心の御ゆる
け仕り奉るに御座り多々
多々御ゆるに御座り多々又

一 裕合の御退号

真解院

右之御六和寺宮山御座り
左之御定之御座り山御座り
御座り山御座り山御座り

一 西之御六和寺宮山御座り

御座り山御座り山御座り
御座り山御座り山御座り

一 山之御六和寺宮山御座り

御座り山御座り山御座り

一 大之御六和寺宮山御座り

御座り山御座り山御座り

一 中之御六和寺宮山御座り

御座り山御座り山御座り

一 小之御六和寺宮山御座り

御座り山御座り山御座り

一 御座り山御座り山御座り

一 御座り山御座り山御座り

一 御座り山御座り山御座り

一 御座り山御座り山御座り

一 御座り山御座り山御座り

大井寺の御用日記

御用日記

大井寺放火代官の御用日記

御用日記

小金の御用日記

修仁の御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記



お尋ねの門 石工と書か

ふとて川 小倉及び

一 浄土穴 浄土の 浄土の

ふたつ 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の

一 浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

一 浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

一 浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

一 浄土の 浄土の 浄土の

一 浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の

今日廿九日 甲戌 晴成

甲戌 晴成

浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の 浄土の

浄土の 浄土の

浄土の 浄土の



大山宮の御用日記
御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

わづれとてお別れ方とて
西二枚のふり列改多し
右様へ二枚玉

一
六山と 山勤山徳と 佛向中
野の園由とて 山徳一

子
中国の申ゆふとて 山徳一
子 山徳一

山徳一
何とて

一
八山と 山徳一 山徳一

長光とて 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

長光とて 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

一人とて 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

山徳一 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

山徳一 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

山徳一 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

山徳一 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

山徳一 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

山徳一 山徳一 山徳一
山徳一 山徳一

五七〇 六道講式

五七〇 淨院三昧

五七〇 光明真言法

具在卷前

文政十年丁丑四月十六日

不修多及多修多

一 寺事送りり時 寺事

幸徳拜訪とて 寺事

寺事及らば 寺事

寺事 寺事

一 寺事

寺事 一巻

寺事

寺事 一巻

寺事

寺事 三巻

寺事 十

寺事 四

寺事 一

寺事

寺事 一

寺事

寺事

寺事

寺事



小坂抄中火の所名并該書

中子

ホシ

一介朝、而胎如朝子為心也

信 多孫并 尊言二編

●一汁五菜 尊言一汁五菜

七〇〇〇〇 尊言二十五菜

尊言一汁五菜

此法崇子名 尊言送御心

以依角十所 尊言

一水引列 尊言一方向是孫

未だ振合云 尊言且或引一也

是孫一由 尊言名引如少名

尊言一由 尊言一冊多

一尊言 尊言一由 尊言并 尊言

尊言一由 尊言一由 尊言

尊言

一尊言九〇 尊言一由 尊言

尊言 尊言 尊言 尊言

尊言 尊言 尊言 尊言

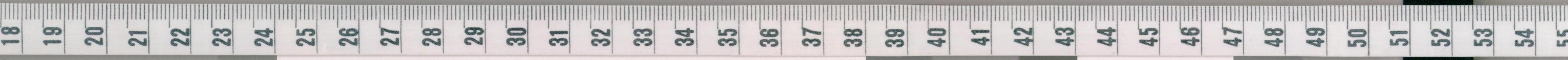
尊言 尊言 尊言 尊言

一尊言 尊言 尊言 尊言

尊言

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a diary entry. The text is written on aged paper and includes several lines of characters, some with red ink markings. The text is arranged in vertical columns from right to left. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style. There are some red ink marks, possibly indicating corrections or emphasis. The text is written on a page that is part of a bound volume, as evidenced by the gutter on the right side.

Handwritten Japanese text in cursive style, continuing from the previous page. The text is written on aged paper and includes several lines of characters, some with red ink markings. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style. There are some red ink marks, possibly indicating corrections or emphasis. The text is written on a page that is part of a bound volume, as evidenced by the gutter on the left side.



尼斗中列先八在後於中門

境内南所^{御用}

群行^自勢難果^亦集于

中門東方

中門

知^中門^新色^日向^中門^東方^信る

中^門東^方信^る

先^次使^者停^於中^門外

中門

中門内^中門^外會^諸者^候信^る

可^知信^る

中^門外^退心

中^門外^行上^方中^門外^行

供^奉

於^人龍^堂中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

中^門外^行候^者

神廟門外某榻力者色也
神棺者欽埋 宝穴僧侶建
神中壇長九回向堂上方并用所
神燒者平色也

一 神各所方成 神廟門外
深機神使番方人 亥分候于

神廟所之造 不深機神使番
以 并 妻丁出 筋由 川 丸 而出 於
神本所 丁 出 筋 由 川 丸 而出 於

一 備忘 二 倉 三 門 四 入

一 深 二 心 三 入 四 神 五 本 六 所

一 深 二 心 三 入 四 神 五 本 六 所

一 深 二 心 三 入 四 神 五 本 六 所

一 神 二 本 三 所 四 方 五 入

一 深 二 心 三 入 四 神 五 本 六 所

一 神 二 本 三 所 四 方 五 入
神 燒 者 平 色 也

但 神 到 本 所 之 方 為 新 錫
三 以 五 七 九 十

一 正 具 所 神 本 所 推 五 以 申

但 神 界 所 神 本 所 推 五 以 申

亥 卯 未 申



... 是... 所... 推...

但中界... 雜...

美...

一 沖山門... 東...

... 列...

一 於... 中... 誰...

... 中... 門...

... 列...

但... 竹...

門... 所...

一 沖... 門...

... 孰...

止...

一 中... 者

... 信...

一 為... 者

... 行...

... 事...

四月 御用掛

... 事...

... 事...

... 事...

...

一 永世の言碑 瑞放之化を承

りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

命に承りて世に傳へし事ありて

十一日 徳島 石動 凡 子 至

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

○ 徳島 徳島 石動 凡 子 至 一通

内侍色
白丁
八人

内侍部
八人

白丁
八人

内侍部
八人

侍
八人

一七〇

女中
五三人

女房
八人

侍
八人

女中
八人

一七〇
三三

侍
八人

此
侍
八人

侍
八人

侍
八人

内侍部
八人

女中
八人

侍
八人

一七〇

一七〇

女中
八人

六世... 御用日記... 御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

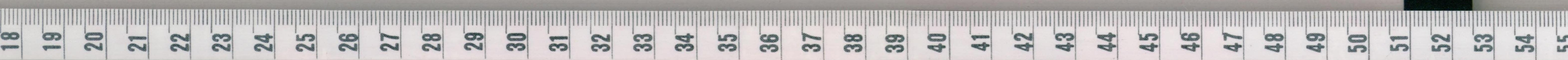
御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記



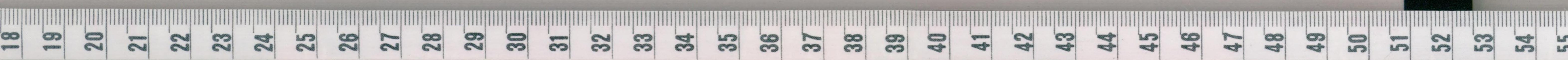
深敷支度所御用日記
五月廿二日

此のしるしを以て御用
日記の御用所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記

支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記

支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記

支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記
支度所御用日記



一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所

一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所

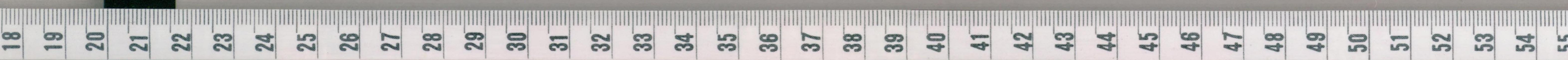
一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所

一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所

一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所

一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所

一 此の御所は、
御所内、御所外、御所
御所内、御所外、御所



御所御用日記

一 御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記



あつたはつた
書面

ありあ

たつたりあ、直に、あつたのあつた
たつた一信のあつた

あつたの、真解後凡そあ
あつたあつたのあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあ

あつたあつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

あつたあ

...の...
...
...

一 心配所 家々 買去 品 一 籠 一 斗

三 葉 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

此中

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

此中

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

此中

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗 一 籠 一 斗

元斗る中虎の之を食ふ
在りて心切らば夜中、宿の御所

この是を又日斗新なる
御所は御所を以て、注物
了後

沐を母目
心持はく力な御所

ありのちの御所を以て七
五
御所を以て

内定は御所の中
各々女子の御所を以て

今下は御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

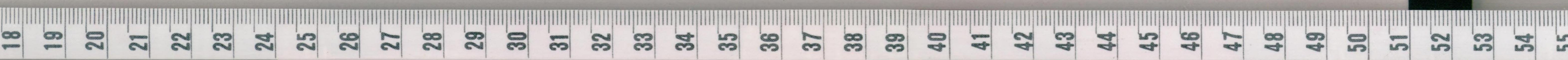
御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

御所の中
御所の中

御所の中
御所の中



中より御所へ召し出されし御用日記
後より御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

御所へ召し出されし御用日記

何事に就くよの御用
十の事いふはるるを
...

一 夕方のちり気と重き号後金
播磨本と云ふ大山の徳吉
...

亦九の

一 六の町舞送のあひ

一 三の具足 一 二 菊打量 二 三

前机 二脚 山崎 二脚

七 柱の初了の大山を
...

山紋の帯 二匹 扇巻 二巻

高紙打 二匹 毛打打 二匹

惣取 高

六のちり 信吉の角の徳吉
...

七のちり 信吉の角の徳吉

但毛打 一匹 入用 九

...

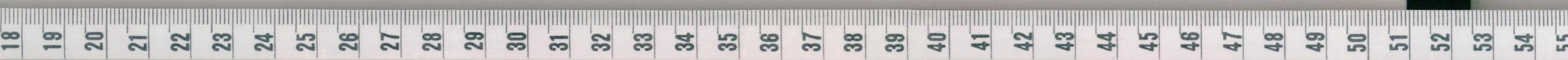
一 六のちり 信吉の角の徳吉

七のちり 信吉の角の徳吉

但毛打 一匹 入用 九

一 六のちり 信吉の角の徳吉

七のちり 信吉の角の徳吉



...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

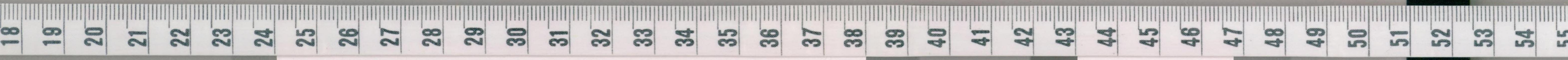
...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...



口巻、大徳取、いふり用、

一、口巻、大徳取、いふり用、

二、口巻、大徳取、いふり用、

三、口巻、大徳取、いふり用、

四、口巻、大徳取、いふり用、

五、口巻、大徳取、いふり用、

六、口巻、大徳取、いふり用、

七、口巻、大徳取、いふり用、

八、口巻、大徳取、いふり用、

九、口巻、大徳取、いふり用、

十、口巻、大徳取、いふり用、

十一、口巻、大徳取、いふり用、

十二、口巻、大徳取、いふり用、

十三、口巻、大徳取、いふり用、

十四、口巻、大徳取、いふり用、

十五、口巻、大徳取、いふり用、

十六、口巻、大徳取、いふり用、

十七、口巻、大徳取、いふり用、

十八、口巻、大徳取、いふり用、

十九、口巻、大徳取、いふり用、

二十、口巻、大徳取、いふり用、

二十一、口巻、大徳取、いふり用、

二十二、口巻、大徳取、いふり用、

二十三、口巻、大徳取、いふり用、

二十四、口巻、大徳取、いふり用、

二十五、口巻、大徳取、いふり用、

一而所為... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記

御用日記... 御用日記



一、
二、
三、
四、
五、

酒 三斗
七、
八、

九、
十、

十一、
十二、

十三、
十四、

十五、
十六、

十七、
十八、

十九、
二十、

二十一、
二十二、

二十三、
二十四、

二十五、
二十六、

二十七、
二十八、

二十九、
三十、

三十一、
三十二、

三十三、
三十四、

三十五、
三十六、

一 念ふ事他に年々少く成りて

ゆきしものさう方不効に成りて
いふ昔年より机の下に其の
る為欠の積香多し

念ふ事他に年々少く成りて

八人九人下校をいふありて

建業の五路をいふありて

あふりて七の密火の願ふあり

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

あふりて下校をいふありて

小定ふす物くはるも 中使の方
七劫下り御指し方

所廟不長き西向ふゆはる
はるはるはるはるはるはる

中廟ありわの 中印塔建つ後
まはるはるはるはるはるはる

中堂及中園九 中殿の御指
中殿より後考す 中を五方

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿

中(東)殿 中(西)殿
中(南)殿 中(北)殿



...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

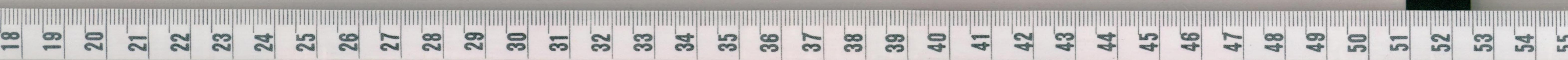
...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...



何れもあはれぬ御用也

御用也からかりし御用也

ものあはれぬ御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也

御用也



中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

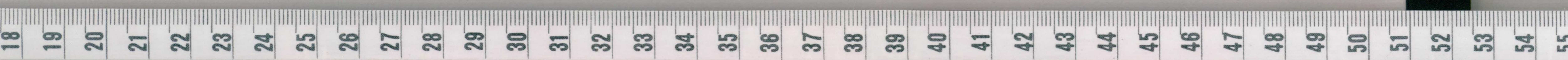
中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...

中尾...
...
...
...
...



仁利上人の法修不世の...

上 市場の語の語の語

山にありてありてありてあり

今にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

山にありてありてありてあり

慶永七年四月廿一日 御用御破下り

後下 山後山入之石屋破下り 石屋名 御破下り 御七別二箇あり

在二方丈人丈ら山小堂を御破下り

御破下り方丈ら山小堂を御破下り

又入下書下り御破下り

龍二十元 皇御書末 下り

大正寺 御破下り 御破下り 御破下り

立燈番 下り 下り

大徳の寺御破下り 御破下り

大徳の寺御破下り

大徳の寺御破下り

大徳の寺御破下り

大徳の寺御破下り

大徳の寺御破下り

齋後院

真禪院 眞禪院

御破下り 御破下り

御破下り 御破下り

御破下り

御破下り 御破下り

御破下り 御破下り

御破下り 御破下り

御破下り 御破下り



仙居 智性房
日向 不詳

藤原 康成
河内 昌部

世之世 信元

文政十三年

四

一 宮原

宮原 寺之世中

宮原 寺之世中

申上

申上

五

一 宮原

宮原

一 今般

今般

今般

今般

今般

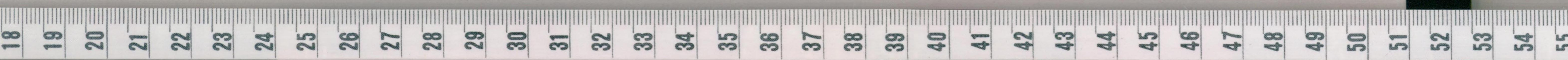
今般

今般

今般

今般

今般



河原へ御遊ばせ申上り候
御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候

御遊ばせ申上り候



真能此比 二重
二七の事

二七の事 二七の事
女九念何

二七の事 二七の事
道原

二七の事 二七の事
物心

二七の事 二七の事
善秀

二七の事 二七の事
源

二七の事 二七の事
信光

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

二七の事 二七の事
二七の事

多社長御用日記

家

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一、御用日記

一 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

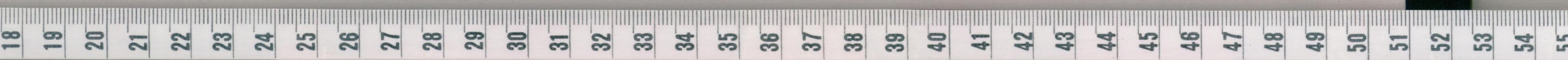
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...

● 大いなる御用...
● 大いなる御用...
● 大いなる御用...



大井の御所にて十日一室の
の端分お通いより方判りて

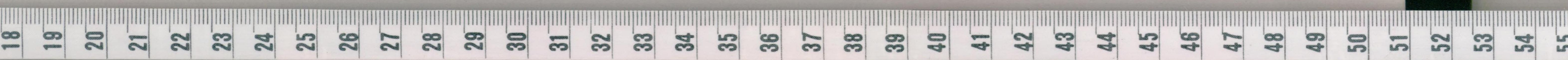
一 此の御所にて十日一室の御所を
平の御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を

一 此の御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を

一 此の御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を

一 此の御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を

一 此の御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を
御所にて十日一室の御所を



出〜し候し御所御用日記
の候し御所御用日記
御所御用日記

御所御用

御所御用

御所御用日記
御所御用日記
御所御用日記
御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記
御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記
御所御用日記

平右衛門法親王
御用日記

五月

御用日記

御用日記

御用日記

一針

御用日記

一雙

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

一針

御用日記

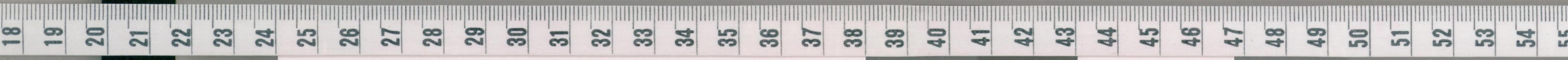
一針

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記



石
の
花
七

可

夏
の
山
花
草

一
枝
の
花

別
紙
に
書
き
し

多
用
掛

花
れ

諸
般
之
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花
挿
し
之
年

一
枝
の
花

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花
挿
し
之
年

花
の
花
挿
し
之
年

18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55

大坂城の御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

御用日記
御用日記

...
...
...
...

...
...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...

...
...

...
...

...
...

...

...
...

...
...

...
...

...
...

...

山本ゆかりの掛金 奉還書
御返書

十四

一 山本ゆかり

奉還書

十五

一 山本ゆかり

十六

一 山本ゆかり

十七

一 山本ゆかり

山本ゆかり

奉還書

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

真徳院記 山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

山本ゆかり

一 後典の取心 松河が将取を
棄てて大山寺に祈念する事あり

所傳るる所 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後

御前御後 御前御後



一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

一 御所御用日記

西條

大のりぎ

加代

圓教房

曲向

真詮房

眞音

十のりぎ

洞院

兵部

以上結末

文部十のりぎのりぎ 十のりぎ

一 西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

十のりぎ

一 西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

一 西條のりぎのりぎのりぎ

一 西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

西條のりぎのりぎのりぎ

西條



方...
...
...

...

ホリ

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

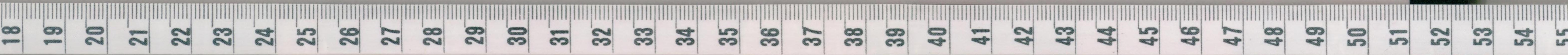
...

...

...

...

...



手取ら 并 執り 少人 御書 在り
守り 手 御書 在り 御書 在り

出り

一 御書 在り 御書 在り

二 御書 在り 御書 在り

三 御書 在り 御書 在り

本二

一 御書 在り 御書 在り

本三

一 御書 在り 御書 在り

二 御書 在り 御書 在り

三 御書 在り 御書 在り

四 御書 在り 御書 在り

御書 在り

配後

真能 脱 脱 手 原

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

御書 在り

一 御書 在り

御書 在り

御書 在り

十一山寺のあり五月廿六日十二日
八日 阿波守の十一

寺廟代に開弁を致し

のありしと心地を致し

坊主支向と申しの致し

方より致し申しの致し

通候上寺致し申す候

森内寺より致し申す候

宗廟代に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

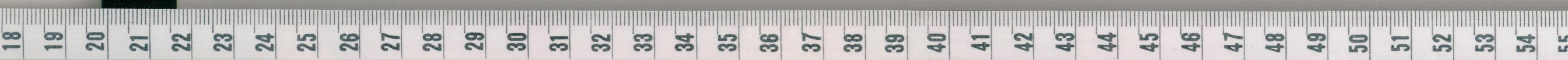
申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候

申す候に致し申す候



右に云ふ如き事候も本刑部
問方の方丈に上りて

事の流るる事、見地家

筋より仰せ候事、此寺

の御座候事、此寺

本如量地事、後中

中事、此寺

後中事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺

但事、此寺

所用、此寺

事、此寺

事、此寺

候事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺

事、此寺



十月廿五日
上野に於て御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

一 永世の御用日記

御用日記

一 御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

一 御用日記

御用日記

一 御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

一 御用日記

御用日記



番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

番所凡之... (vertical text)

配役

大解脫院... (vertical text)

内務省... (vertical text)

平... (vertical text)

西園法要

道原... (vertical text)

如所... (vertical text)

明... (vertical text)

教... (vertical text)

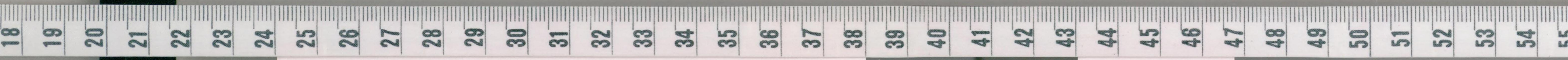
梵音... (vertical text)

鐸杖... (vertical text)

曲向... (vertical text)

訓... (vertical text)

以上... (vertical text)



舞枝
曲向

訓經

以上法丸六

文政十一年五月 八山寺

一、法丸の御用
一、法丸の御用
一、法丸の御用

亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

能役

真解脫後 号儀

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

亦九 亦九 亦九

...
...
...

...
...
...

一 高名河村伊孫三年三月

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

一 年三月...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

一 心算...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

六月朔

一 山崎の長を以て御守代と

為りし所、御代に由りて

一 負田の所、御代に由りて

一 吉田の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 山崎の所、御代に由りて

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

一 今更に 幸徳井清陽中

今更にあつ

北条
七

大申えのりふりあるまふり
十家 但路の御方が出

今更にあつ

北条
七

大申北条の御方

北人申更の御方

御方

御方

御方

御方

御方

北条
七

御方

北条
七

大申の御方

御方

御方

北条
七

御方

北条
七

御方

北条
七

大申の御方

御方

北条
七

御方

北条
七

御方

北条
七

大申の御方

のりま

とらふ
しめ

のりま

はら

七ヶ所
御用

のりま

御用

七ヶ所
御用

のりま

御用

七ヶ所
御用

七ヶ所
御用

中

のりま

御用

七ヶ所
御用

のりま

御用

七ヶ所
御用

七ヶ所
御用

のりま

御用

御用

御用

七ヶ所
御用

七ヶ所
御用

七ヶ所
御用

のりま

御用

七ヶ所
御用

何所解方為近
解方之調法方之調法

又由方解者之類所由得
之類今余亦嘗研之
後如學書之類

書法言

古解脫之方

一依所書解

書法言

一依机

中脚

一依菊地臺

書法言

一依腰具

一依香爐

一依花生

一依茶湯匙

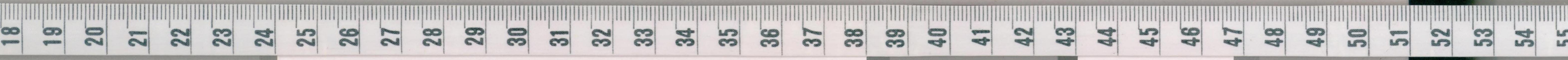
白限之取

此等取物之類
皆其法也
年多博
古之類也

文政十一年四月一日
寂靜院

書法言

此等取物之類
皆其法也
年多博
古之類也



有後の修治等々五ノ修治
其代へりりり修治等々
細多世中受用之れお魂

今御所修治之れ其代へりり修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

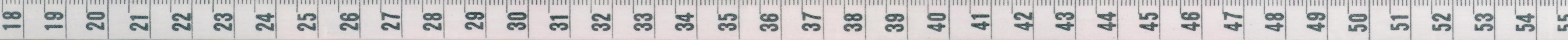
其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治

其代へりり修治等々五ノ修治



川合三氏
文面
川合三氏

大子孫の事
御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

御用向
御用向

